



# カリオン

Vol. 16



2012年3月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 湯浅志郎  
編集責任者 事務部長 久保純一  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 統合実習



クラスⅢの学生は、平成23年11月～12月にかけて、平成21年度カリキュラム改正とともに新設された統合実習を行いました。

看護師長・係長と行動をともにすることで管理の視点から看護を考えること、実習グループで数名の患者を受けもつことで、チームで看護をすることの意味などを学びながら、より実践に近い形の実習となりました。

学生は、4月から看護師として、患者の前に立つという重責や自分の未熟さを目の当たりに

しましたが、グループメンバー、臨床のスタッフ、看護師長・係長に助けてもらいながら、3年間の自分自身を振り返り、看護について真摯に考える実習となりました。

(専任教師：名村 かよみ)

## 行事予定 (平成24年3月・4月)

### 3月

- 7日(水)卒業を祝う会
- 8日(木)卒業を祝う会講演(大槻耕介氏)
- 9日(金)クラスⅢ卒業式
- 15日(木)クラスⅠ・Ⅱ護身術
- 20日(火)～4月3日(火)春季休業
- 26日(月)第101回看護師国家試験合格発表
- 30日(金)入学前オリエンテーション

### 4月

- 4日(水)クラスⅢ・Ⅱ前期授業開始
- 5日(木)第114回生入学式
- 13日(金)新入生歓迎会
- 25日(水)・26日(木)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-1
- 29日(日)～5月6日(日)保健週間

### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1)人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。

6)健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。

8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践とともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。

9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

## 基礎看護学実習Ⅱ

1月27日(金)~2月14日(火)

クラス I



今回の実習は、毎日行動計画や援助計画、実習記録を書き、自己学習もして大変でしたが、約2週間という期間の中で、どんな援助をしたらいいか、患者さんの状態に合わせた援助はどんなものか、どうしたら患者さんの不安を軽減することができるかなど、看護師の方や先生にアドバイスをもらいながら自分なりに考えることができた実習だったと思います。この実習で学んだことを忘れずに、これからのお講義や実習に生かしていきたいです。

(クラス I)

初めての受け持ち患者さんと関わる実習は、期待と緊張でいっぱいでした。学校で練習するのと実際患者さんを目の前にして援助を行うのとでは全然異なり、緊張してできなかったり、手順を忘れてしまうこともあります。爪切りひとつ行うのも、すごく時間がかかるってしまいました。今、患者さんにとって何が一番大切なかを考えることは難しかったですが、看護師さんや先生、グループメンバーのアドバイスにより乗り越えることができました。今回の実習で学んだことを忘れずに、からの学校生活を送っていきたいと思います。

(クラス I)



## 統合技術演習

クラス III

平成21年度に新設された統合技術演習は、看護基礎教育と臨床の乖離を減らし、臨床へのスムーズな移行を目指しています。4月から看護師になることを考えて、1つ1つの技術を見直し、真剣に取り組みました。



## 「在宅における看護実践」演習

自分で話をしたり、動いたりできない A L S (筋萎縮性側索硬化症) の患者を設定し、コミュニケーションのとり方や移動の方法について演習を通して考えました。人間が当たり前にできることの全てを人に委ねる辛さ、家族の葛藤など考えることの多い授業となりました。

(専任教師：名村 かよみ)



クラス II

第24回

## 院内学術研究発表会

1月27日(金)

カリキュラム改正に伴う新しい取り組み  
～統合実習の実際～



第24回院内学術研究発表会で「カリキュラム改正に伴う新しい取り組み～統合実習の実際～」について発表しました。実習を計画するにあたっては師長・係長・臨床指導者の意見も取り入れ、検討を重ねてきました。初めての取り組みで不安もありましたが、臨床の協力のもと、学生はチームワークの重要性や看護師になる責任・自覚など多くのことを学んでいました。これらの学びを大事にしながら、卒業後も臨床の場で活躍してくれることを期待します。

(専任教師：山田 道代)

### 「東日本大震災での支援活動」

- 東日本大震災が発生し、石巻赤十字看護専門学校も津波で甚大な被害を受けました。
- 石巻赤十字の学生は自らも被災しながら、避難所の小学校で被災者の看護にあたったと聞きました。同じ赤十字で学者としてなにができるのではないかと考えて、学生自治会で話し合い、募金活動を行ったり、千羽鶴を折ったりして届けました。
- 被災地の復興には、まだ長い年月がかかると思われますが、これからも私たちにできる支援を続け、ともに夢に向かって頑張っていきたいと思います。



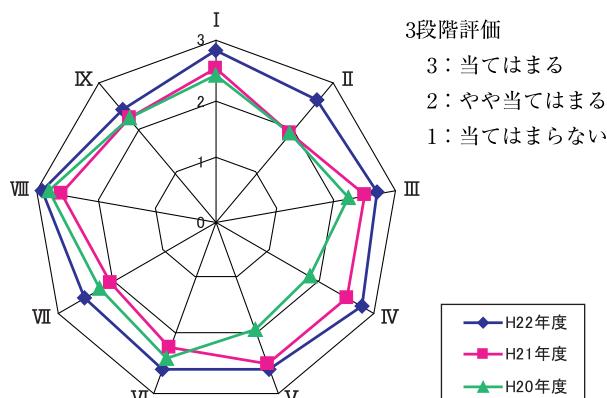
(クラス II)

# 学校自己点検・自己評価について

「赤十字看護専門学校の自己点検・自己評価指針」に基づき、特色ある看護教育の充実と教育水準の向上を目指し、毎年自己点検・自己評価を実施しています。

教職員が、9カテゴリー、266項目について自己評価を行なった後、学校運営会議で協議し、最終評価としています。

9カテゴリーの平均値を示しています。



	H22	H21	H20
I 教育理念・教育目的	2.8	2.5	2.4
II 教育目標	2.6	1.9	1.9
III 教育課程の経営	2.7	2.5	2.2
IV 教授・学習・評価過程	2.8	2.5	1.8
V 経営・管理過程	2.6	2.5	1.9
VI 入学	2.6	2.2	2.4
VII 卒業・就業・進学	2.5	2.0	2.2
VIII 地域社会・国際交流	2.9	2.6	2.8
IX 研究	2.4	2.2	2.2

平成22年度の評価は平成21年度と比較し、0.2ポイント上りました。平成22年度は、新カリキュラム2年目に入りました。従来の行動主義から経験型学習への変換を目指し、授業の方法を工夫しています。臨地実習においても、臨地と協力して、実習内容、方法、評価方法を検討しています。学生が主体的に学べるように自分自身で目標をたてて学習をすすめ、成果報告会をもっています。

また、18歳人口が減少し大学全入時代を迎えるに伴い、受験生確保のためにホームページを充実し、従来は8月水曜日に3回開催していたオープンキャンパスを6月・10月の日曜日にも開催しました。

日本赤十字社兵庫県支部の支援事業補助金により、老人、子どもの実習人形など多数の新規教材を整備しました。

(副校长：柳 めぐみ)

## 自己点検・評価への参加のお願い

今後は、看護教育のさらなる質の向上のために、保護者の方々のご意見を伺う機会を作りたいと考えています。

ご協力よろしくお願い致します。

## 病院フェスタのご案内

平成24年5月12日(土)

姫路赤十字病院が、地域の方々との連携を促進するため開催します。

看護学校も開放します。どうぞご参加下さい。



## 季節の花々

### 「山茶花(さざんか)」

看護学校から病院への道に、冬に咲く代表的な花「山茶花」がたくさん咲いています。



山茶花の花言葉は、「困難に打ち勝つ」。まさに冬の寒さに打ち勝とうとする力強さを感じられます。困難に打ち勝って、国家試験に全員合格できますように…

(専任教師：松井 里美)



寒さが身にしみた冬は去り、春を迎えようとしている。

新カリキュラムの学生が卒業を迎える。学生は3年間でどれくらい太く深く大地に看護の根を張ってくれただろうか。教師としては、十分な光を照らすことができただろうか。

10年後20年後、学生たちが自分の選んだ道で大きく枝を伸ばし、看護のキャリアを積んでいくことを祈る。

(専任教師：名村 かよみ)

